

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公表番号】特表2017-513411(P2017-513411A)

【公表日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2016-567475(P2016-567475)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

G 1 0 L 15/00 (2013.01)

G 1 0 L 15/30 (2013.01)

G 1 0 L 21/0208 (2013.01)

H 0 4 R 1/10 (2006.01)

H 0 4 B 1/38 (2015.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/00 U

G 1 0 L 15/00 2 0 0 F

G 1 0 L 15/00 2 0 0 A

G 1 0 L 15/30

G 1 0 L 21/0208 1 0 0 Z

H 0 4 R 1/10 1 0 1 A

H 0 4 B 1/38

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月24日(2018.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 4 】

本発明をその例示的な実施形態を参照して詳細に説明してきたが、添付の請求の範囲に包含される本発明の範囲を逸脱することなく、様々な形および詳細の変更がなされ得ることが当業者によって理解されるであろう。

なお、本発明は、実施の態様として以下の内容を含む。

[態様 1]

ユーザによって装着されたウェアブル装置からサービング装置に対してインターフェースをとる方法であって、

前記サービング装置と前記ウェアブル装置との間に可逆無線データリンクを確立することと、

前記ウェアブル装置によって、前記ウェアブル装置の 1 つ以上のマイクからオーディオデータを収集することと、

前記ウェアブル装置によって、前記収集されたオーディオデータを、前記可逆無線データリンクを介して前記サービング装置へ送ることと、
を含む方法。

[態様 2]

態様 1 に記載の方法において、

前記ウェアブル装置はヘッドセット装置である、
方法。

[態様 3]

態様 1 に記載の方法において、
前記ウェアブル装置は腕時計型装置である、
方法。

[態様 4]

態様 1 に記載の方法において、
前記サービング装置によって、前記オーディオデータに関連付けて音声認識サービスを提供することを更に含む、
方法。

[態様 5]

態様 4 に記載の方法において、
前記音声認識サービスは広帯域音声処理と (i i i) 低歪み音声圧縮とを含む、
方法。

[態様 6]

態様 1 に記載の方法において、
前記ウェアブル装置によって、前記収集されたオーディオデータの音声圧縮を提供することを更に含む、
方法。

[態様 7]

態様 1 に記載の方法において、
前記サービング装置は、携帯電話、スマートフォン、タブレットデバイス、ラップトップコンピュータ、ノートブックコンピュータ、デスクトップコンピュータ、ネットワークサーバ、ウェアブルモバイル通信装置、ウェアブルモバイルコンピュータ、およびクラウドベースコンピューティングエンティティのうちの 1 つ以上である、
方法。

[態様 8]

態様 1 に記載の方法において、
前記ウェアブル装置によって、前記収集されたオーディオデータに関連付けてノイズキャンセルサービスを提供することを更に含む、
方法。

[態様 9]

態様 1 に記載の方法において、
前記ウェアブル装置から前記サービング装置へ情報を送り、前記サービング装置において、前記可逆無線データリンクをサポートするのに必要な 1 つ以上の構成要素を確立することを更に含む、
方法。

[態様 10]

態様 1 に記載の方法において、
前記可逆無線データリンクをサポートするのに必要な前記 1 つ以上の構成要素は、(i) カスタム W I F I 接続およびカスタムブルートゥース・プロファイルのうちの 1 つ以上と、(i i) ドライバと、(i i i) 圧縮 / 解凍コードと、を含む、
方法。

[態様 11]

態様 1 に記載の方法において、
前記可逆無線データリンクは、カスタムブルートゥース・プロファイルで動作するブルートゥースリンクである、
方法。

[態様 12]

サービング装置とウェアブル装置との間に可逆無線データリンクを確立する方法であって、

前記ウェアブル装置によって、前記ウェアブル装置と前記サービング装置との間に第 1 のプロトコルの無線リンクを確立することと、

前記ウェアブル装置によって、かつ前記第 1 のプロトコルの前記無線リンクを使用して、第 2 のプロトコルの可逆の無線リンクを確立することと、

前記ウェアブル装置によって、前記サービング装置へ情報を伝達し、前記サービング装置において、前記可逆無線データリンクをサポートするのに必要な 1 つ以上の構成要素を確立することと、

を含む方法。

[態様 1 3]

態様 1 2 に記載の方法において、

前記可逆無線データリンクをサポートするのに必要な前記 1 つ以上の構成要素は、カスタムブルートゥース・プロファイルと、ドライバと、圧縮 / 解凍コードとを含む、方法。

[態様 1 4]

態様 1 2 に記載の方法において、

第 1 のプロトコルの前記無線リンクは非可逆ブルートゥースリンクであり、第 2 のプロトコルの前記無線リンクは可逆ブルートゥースリンクである、方法。

[態様 1 5]

態様 1 4 に記載の方法において、

前記可逆ブルートゥースリンクはブルートゥース S P P プロファイルに基づく、方法。

[態様 1 6]

態様 1 2 に記載の方法において、

第 1 のプロトコルの前記可逆無線リンクは、カスタムブルートゥース・プロファイルで動作するブルートゥースリンクである、方法。

[態様 1 7]

少なくとも 1 つのマイクと、

少なくとも 1 つのスピーカと、

ボイス圧縮エンジンと、

可逆無線データチャネルを介してボイスパケットを伝送するよう構成されたドライバと、を含むウェアブル装置。

[態様 1 8]

態様 1 7 に記載のウェアブル装置において、

前記可逆無線データチャネルはブルートゥース S P P プロファイルに基づく、ウェアブル装置。

[態様 1 9]

態様 1 7 に記載のウェアブル装置において、

前記ボイス圧縮エンジンは、(i) サブバンドコーダ、(i i) S p e e x、および (i i i) E T S I 分散音声認識のうちの 1 つ以上を含む、ウェアブル装置。

[態様 2 0]

態様 1 7 に記載のヘッドセットにおいて、

ノイズキャンセルエンジンを更に含む、ヘッドセット。

[態様 2 1]

態様 2 0 に記載のヘッドセットにおいて、

前記ノイズキャンセルエンジンは、2 つ以上のソースからオーディオ信号を受信し、線

形ノイズキャンセルアルゴリズムを使用して周囲ノイズを低減する、
ヘッドセット。

〔 態様 2 2 〕

態様 1 7 に記載のヘッドセットにおいて、
カスタムブルートゥース・プロファイルおよびドライバをサービング装置に伝達して前
記サービング装置における前記可逆リンクの実施を容易にするよう構成された、コード配
備モジュールを更に含む、
ヘッドセット。

〔 態様 2 3 〕

態様 2 2 に記載のヘッドセットにおいて、
前記コード配備モジュールは、アプレットを前記サービング装置に伝達して、前記カス
タムブルートゥース・プロファイルおよびドライバを前記サービング装置にインストール
する、
ヘッドセット。

【 手続補正 2 】

【 補正対象書類名 】 特許請求の範囲

【 補正対象項目名 】 全文

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 特許請求の範囲 】

【 請求項 1 】

ユーザによって装着されたウェアブル装置からサービング装置に対してインターフェー
スをとる方法であって、

前記サービング装置と前記ウェアブル装置との間に可逆無線データリンクを確立するこ
とと、

前記ウェアブル装置によって、前記ウェアブル装置の 1 つ以上のマイクからオーディオ
データを収集することと、

前記ウェアブル装置によって、前記収集されたオーディオデータを、前記可逆無線デー
タリンクを介して前記サービング装置へ送ることと、

前記ウェアブル装置から前記サービング装置へ情報を送り、前記サービング装置におい
て、前記可逆無線データリンクをサポートするのに必要な 1 つ以上の構成要素を確立する
こと

を含み、

前記可逆無線データリンクをサポートするのに必要な前記 1 つ以上の構成要素は、(i
) カスタム W I F I 接続およびカスタムブルートゥース・プロファイルのうちの 1 つ以上
と、(i i) ドライバと、(i i i) 圧縮 / 解凍コードと、を含む、

方法。

【 請求項 2 】

請求項 1 に記載の方法において、
前記ウェアブル装置はヘッドセット装置である、

方法。

【 請求項 3 】

請求項 1 に記載の方法において、
前記ウェアブル装置は腕時計型装置である、

方法。

【 請求項 4 】

請求項 1 に記載の方法において、
前記サービング装置によって、前記オーディオデータに関連付けて音声認識サービスを
提供することを更に含む、

方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の方法において、
前記音声認識サービスは広帯域音声処理と (i i i) 低歪み音声圧縮とを含む、
方法。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の方法において、
前記ウェアブル装置によって、前記収集されたオーディオデータの音声圧縮を提供することを更に含む、
方法。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の方法において、
前記サービング装置は、携帯電話、スマートフォン、タブレットデバイス、ラップトップコンピュータ、ノートブックコンピュータ、デスクトップコンピュータ、ネットワークサーバ、ウェアブルモバイル通信装置、ウェアブルモバイルコンピュータ、およびクラウドベースコンピューティングエンティティのうちの 1 つ以上である、
方法。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の方法において、
前記ウェアブル装置によって、前記収集されたオーディオデータに関連付けてノイズキャンセルサービスを提供することを更に含む、
方法。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の方法において、
前記可逆無線データリンクは、カスタムブルートゥース・プロファイルで動作するブルートゥースリンクである、
方法。

【請求項 10】

サービング装置とウェアブル装置との間に可逆無線データリンクを確立する方法であって、
前記ウェアブル装置によって、前記ウェアブル装置と前記サービング装置との間に第 1 のプロトコルの無線リンクを確立することと、
前記ウェアブル装置によって、かつ前記第 1 のプロトコルの前記無線リンクを使用して、第 2 のプロトコルの可逆の無線リンクを確立することと、
前記ウェアブル装置によって、前記サービング装置へ情報を伝達し、前記サービング装置において、前記可逆無線データリンクをサポートするのに必要な 1 つ以上の構成要素を確立することと、
を含み、

前記可逆無線データリンクをサポートするのに必要な前記 1 つ以上の構成要素は、カスタムブルートゥース・プロファイルと、ドライバと、圧縮 / 解凍コードとを含む、
方法。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の方法において、
第 1 のプロトコルの前記無線リンクは非可逆ブルートゥースリンクであり、第 2 のプロトコルの前記無線リンクは可逆ブルートゥースリンクである、
方法。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の方法において、
前記可逆ブルートゥースリンクはブルートゥース S P P プロファイルに基づく、
方法。

【請求項 13】

請求項 1 0 に記載の方法において、
第 1 のプロトコルの前記可逆無線リンクは、カスタムブルートゥース・プロファイルで動作するブルートゥースリンクである、
方法。

【請求項 1 4】

少なくとも 1 つのマイクと、
少なくとも 1 つのスピーカと、
ボイス圧縮エンジンと、
可逆無線データチャネルを介してボイスパケットを送送するよう構成されたドライバと、
カスタムブルートゥース・プロファイルおよびドライバをサービング装置に伝達して前記サービング装置における前記可逆リンクの実施を容易にするよう構成された、コード配備モジュールと、
を含むウェアブル装置。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載のウェアブル装置において、
前記可逆無線データチャネルはブルートゥース S P P プロファイルに基づく、
ウェアブル装置。

【請求項 1 6】

請求項 1 4 に記載のウェアブル装置において、
前記ボイス圧縮エンジンは、(i) サブバンドコーダ、(i i) S p e e x、および (i i i) E T S I 分散音声認識のうちの 1 つ以上を含む、
ウェアブル装置。

【請求項 1 7】

請求項 1 4 に記載のヘッドセットにおいて、
ノイズキャンセルエンジンを更に含む、
ヘッドセット。

【請求項 1 8】

請求項 1 7 に記載のヘッドセットにおいて、
前記ノイズキャンセルエンジンは、2 つ以上のソースからオーディオ信号を受信し、線形ノイズキャンセルアルゴリズムを使用して周囲ノイズを低減する、
ヘッドセット。

【請求項 1 9】

請求項 1 4 に記載のヘッドセットにおいて、
前記コード配備モジュールは、アプレットを前記サービング装置に伝達して、前記カスタムブルートゥース・プロファイルおよびドライバを前記サービング装置にインストールする、
ヘッドセット。